NEC

Ｎ８１７１－３０Ｂ
１５型カラーディスプレイ

取扱説明書

目次

まえがき 3
ご注意 3
安全上のご注意（必ずお読みください） 4
使用上のご注意 9
本機の特徴 10
添付品の確認 10
接続の手順 11
各部の名称 13
ＯＳＤメニューについて 14
節電機能について 17
トラブルシューティング 18
付録：ハードウェア仕様 19

まえがき

この度は弊社カラーディスプレイをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はカラーディスプレイに関する設定方法、接続方法、機能等についての説明書です。ご使用前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。

ご注意

・本書は読み終わった後も、いつでも見られる場所に必ず保管しておいてください。
・本製品を譲渡される場合は、必ず本書も一緒に譲渡してください。
・本書を紛失された場合はお買い上げの販売店または当社営業までお問い合わせください。
・本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がありましたらお買い上げの販売店または当社営業までご連絡くださいますようお願いいたします。ただし、本書を運用した結果につきましては、これに関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書の他に、基本装置の取扱説明書の周辺機器に関する項目、および Windows 等のソフトウェアの取扱説明書も併せてお読みくださいますようお願いいたします。
・本製品の仕様、デザイン及び取扱説明書の内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
・Windows は米国マイクロソフト社の商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は社団法人日本電子工業振興協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しております。

本製品は日本国内用です。海外では使えません。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使用しています。必ず内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

⚠ 注意　この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

絵表示の意味

三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。

丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠ 警告

●故障したままの使用はしない

万一、本製品から変な音やにおい、煙が出た時など異常がある時　はすぐに本体の電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いてください。

電源プラグを
コンセントから抜く

●裏ぶたをはずさない

本製品の裏ぶたは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電するおそれがあります。

分解禁止

⚠ 警告	
	高圧注意 サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、さわると危険です。

感電注意

「本体背面ラベルに表示した事項」

●電源コードを傷つけない

電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らないでください。コードが破損して火災・感電の原因になります。

傷つけ禁止

●不安定な場所に置かない

本製品を不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

禁止

●キャビネットを破損したときは使用しない

キャビネットが破損した場合には、本製品の使用を中止してください。火災・感電の原因になります。

使用禁止

●内部に異物を入れない

本製品の通風孔などから金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落とし込んだりしないでください。また、水などの液体がかからないようにしてください。故障・火災・感電などの原因になります。特にお子さまにご注意ください。

禁止

⚠ 警告

●改造・修理をしない

本製品を改造したり、お客様ご自身での修理は行わないでください。けが・火災・感電の原因になります。

修理・改造禁止

●正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。故障、火災、感電の原因になります。

100 ボルト以外
使用禁止

●ポリ袋で遊ばない

本体包装のポリ袋を頭からかぶるなどして遊ばないでください。かぶると窒息の原因になります。特にお子さまにご注意ください。

禁止

●ぬらしたり、水のある場所には置かない

水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因になります。

禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。

禁止

●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因になります。

接触禁止

●本装置の使用環境について

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

禁止

⚠ 警告

●電源コードは付属のものを使用する

電源コードは必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。また、本製品に付属の電源コードを他の装置に流用しないでください。火災の原因になることがあります。

付属品を使用

⚠ 注意

●通風孔をふさがない

本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。次のような使いかたはしないでください。あお向け・横倒し・逆さまにする、押し入れや本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む、ジュータンや布団の上に置く、テーブルクロスをかける。

禁止

●つぎのような場所には設置しない

油調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所、直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所に本製品を設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。

禁止

●電源プラグをもって抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグをもって抜いてください。

プラグをもつ

●接続線をつけたまま移動しない

本製品を移動させる際には、電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ、移動させてください。接続線をつけたまま移動させるとコードに傷がつき、火災・感電の原因になることがあります。

禁止

●電源プラグのほこりなどは定期的にとる

１年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。電源プラグにほこりがたまると火災の原因になることがあります。

ほこりを取る

⚠ 注意

●チルト台に指をはさまない

チルト台の取り付け時や操作時に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因になることがあります

●長期間使用しない場合は電源プラグを抜く

旅行などで長期間、本製品をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したままお手入れをすると、感電の原因になることがあります。

●１年に１度は内部清掃を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。内部清掃はお買い上げの販売店または当社営業にご依頼ください。

●近くで無線機を使用しない

本製品の近くでＰＨＳ、携帯電話等の無線機を使用しないでください。誤動作の原因になることがあります。

●信号ケーブルの接続について

信号ケーブルを基本装置に接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れていないか確認してください。コネクタが破損したり、ピンの汚れたケーブルを使用した場合、ショートにより火災の原因になることがあります。なお、信号ケーブルの接続は本製品と基本装置の電源を切った状態で行ってください。信号ケーブルを基本装置に接続したら、固定ネジでしっかりと固定してください。固定しない状態で使用するとショートにより火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

●お手入れについて

お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。本製品が汚れた場合は柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる場合があります。

特にブラウン管の表面はほこりがつきやすいので、適時、柔らかい布でふいてください。ブラウン管の表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

●本製品のデガウス機能について

本製品は電源オン時に自動的にデガウス機能が動作するようになっております。万一、ブラウン管の帯磁によって画面に著しい色ずれ／色むら等の表示異常が発生した場合にはデガウスを行えば画面は正常に戻ります。

デガウスを行う場合には電源オフの状態で５分以上放置した後に電源をオンにしてください。それでも表示異常が解消されない場合は電源オフの状態で２０分程度放置した後に電源をオンにしてください。短時間内に電源オン／オフを実行してもデガウスは正常に動作いたしませんのでご注意ください。

●ノイズに注意してください

ラジオ、テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますと、ノイズが入り誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

●本製品を輸送する場合にご注意ください

チルト台を取り付けたまま輸送すると機器が損傷することがあります。修理や移動等で本製品を輸送する場合は、チルト台を取り外した状態で専用の梱包箱を使用するか、または専門の輸送業者に梱包を依頼してください。

●本製品の廃棄について

本製品の廃棄については地方自治体の条例または規則にしたがって正しく廃棄してください。

●上手な見方

画面の位置は目の高さよりやや低く、目から４０～６０cm はなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。

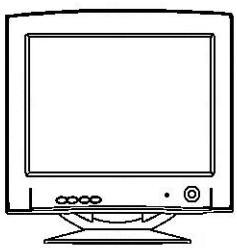
明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

本機の特徴

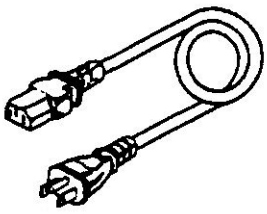
・マイクロプロセッサ制御により設定を記憶することができます。（最大２０種、工場出荷時１０種設定済み）
・水平周波数は３０KHz～７０KHz、垂直周波数は５０Hz～１２０Hz の範囲で自動的に調整されます。
・１０２４ドット×７６８ラインまでの解像度に対応します。
・約１６７７万色フルカラーに対応していますので、色数はソフトウェア、グラフィックスカードにより多彩な色を再現することができます。
・画面の歪みやギラつきの少ないフラットでノングレアなブラウン管を使用しています。
・節電機能をもっています。これは同期信号が停止した場合、ブラウン管、回路などへの給電をストップして消費電力を節約する機能です。同期信号を再開すると、通常の動作状態に戻ります。この機能は VESA の定める DPMS 規格に対応した基本装置でのみ使用することができます。
・モニターの調整をオン・スクリーン・ディスプレイ（ＯＳＤメニュー）から簡単に行うことができます。
・VESA DDC 1/2B に対応しています。VESA DDC (Display Data Channel)に対応した基本装置に本製品を接続すると、Windows2000 などからプラグ&プレイを実現することができます。

添付品の確認

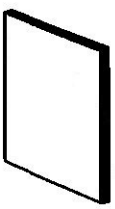
梱包を開梱しましたら、以下の付属品が全てそろっているか確認してください。万一、不足しているものや損傷しているものがありましたら、お買い上げの販売店または当社営業までご連絡ください。



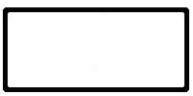
１５型カラーディスプレイ



電源コード



取扱説明書（本書）



保証書

接続の手順

■ チルト台の取り付け

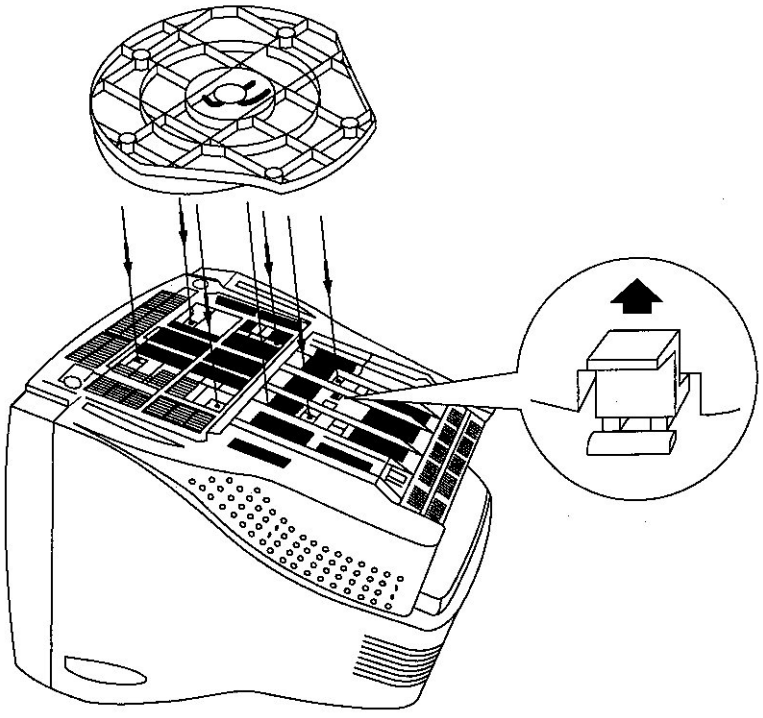
⚠ 警告

・チルト台の取り付け、取り外しは電源スイッチを切り必ずプラグを抜いて行ってください。

⚠ 注意

・本作業は、安定した十分な広さの台上または床で行ってください。
・下に布を敷くなどして、ディスプレイに傷がつかないようにしてください。
・作業中に指をはさまないようにご注意ください。

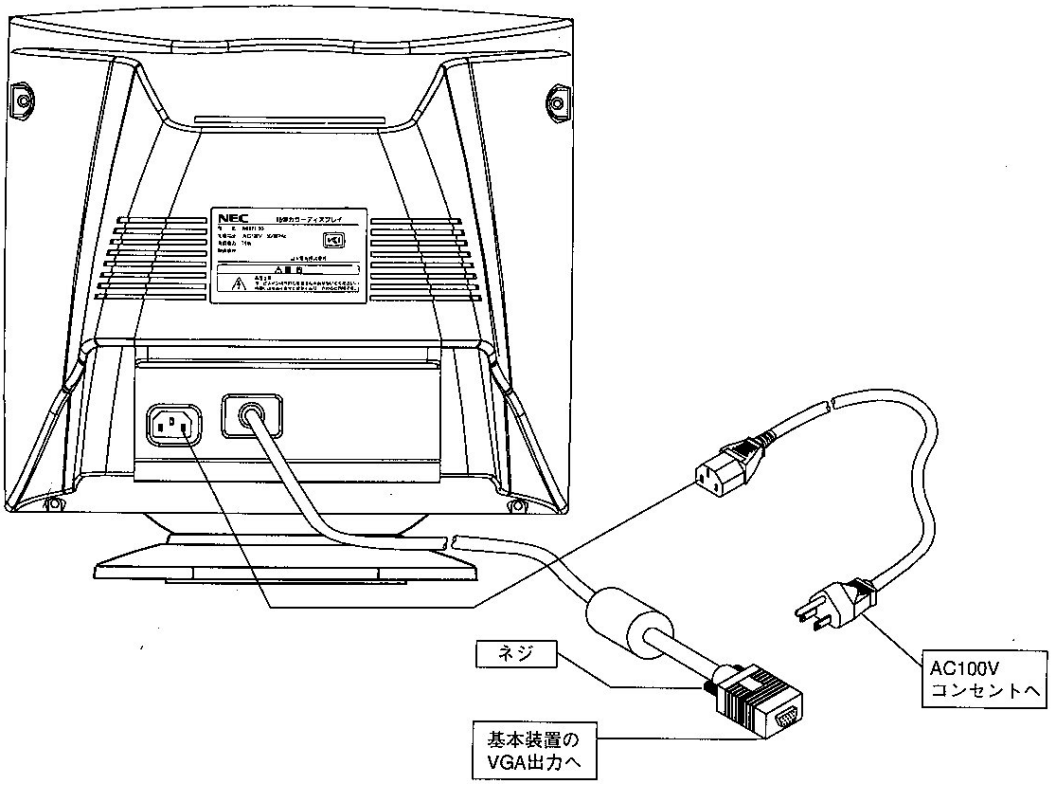
① 本製品を上下反転させ、チルト台のツメを装置のスロット（6箇所）へ入れます。
② 装置が動かないように固定して、チルト台を「カチッ」と音がするまで前方向に強く押します。
③ ラッチがロックされていることを確認します。



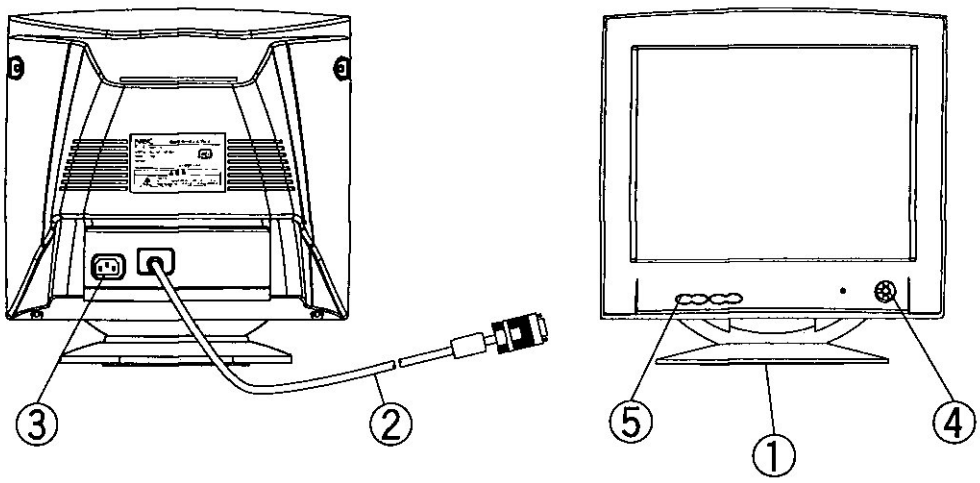
■ 基本装置との接続方法

電源コード（本製品に添付）を本製品背面の電源コネクタに接続します。信号ケーブルを基本装置のＶＧＡコネクタに接続します。

（ご注意）
基本装置と本製品の両方の電源スイッチを切ってから接続してください。接続する基本装置の取扱説明書も参照してください。また、本製品の仕様と基本装置の仕様を確認して接続してください。



各部の名称



① **チルト台**
モニタを見やすい角度に調整します。水平方向に左右９０度まで回転します。
垂直方向では２０度まで回転できます。

② **信号ケーブル**
アナログ信号を変換、モニターに出力するためのもので、基本装置のＶＧＡコネクタに接続します。

③ **電源入力コネクタ**
電源コードを接続します。

④ **電源スイッチと電源表示ランプ**
押すと電源が入ります。電源を切るときは、再度押してください。
電源が入ると緑色に点灯します。節電モードのときはオレンジ色に点灯します。

⑤ **ＯＳＤ操作用ボタン**

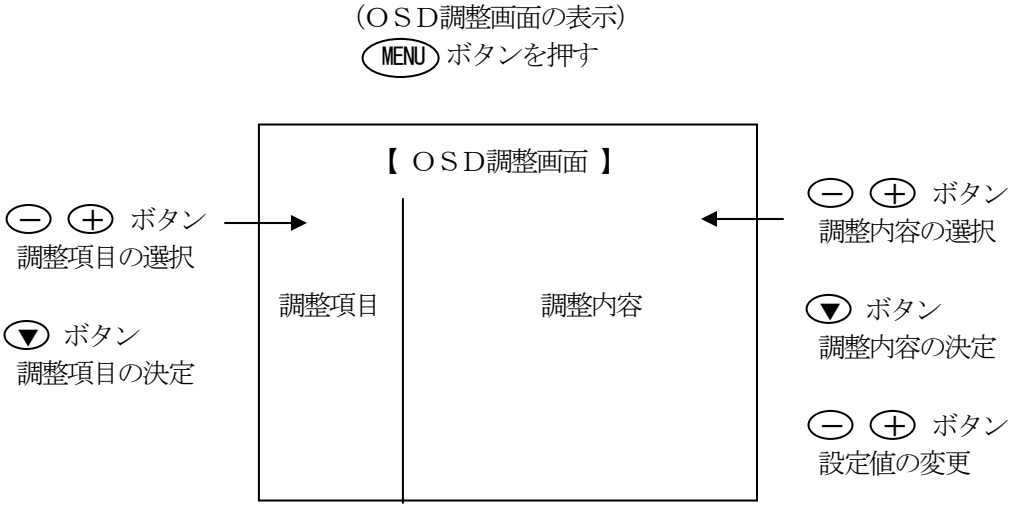
MENU	ＯＳＤメニューを表示します。
▼	ＯＳＤメニューの調整項目／調整内容を決定します。
−	ＯＳＤメニューの調整項目／調整内容を選択します。 選択されている項目の値を減少させます。
＋	ＯＳＤメニューの調整項目／調整内容を選択します。 選択されている項目の値を増加させます。

ＯＳＤメニューについて

■ ＯＳＤの操作方法（オン・スクリーン・ディスプレイ）

・ＯＳＤによる調整メニューを表示させるには (MENU) ボタンを押してください。

・ＯＳＤ画面の遷移について



・最後のキー入力から１５秒経過後、ＯＳＤは自動的に消えます。
・モード変更時、節電移行時等で画面が消去された場合はＯＳＤ画面も消えます。
・ＯＳＤ画面が表示されていない時に － キーを押すと、コントラスト調整画面を呼び出すことができます。
・ＯＳＤ画面が表示されていない時に ＋ キーを押すと、ブライトネス調整画面を呼び出すことができます

■ ＯＳＤ調整画面での調整項目

１．コントラスト／ブライトネス（ ◐ ）

◐	Contrast	コントラストを調整します。
☼	Brightness	ブライトネスを調整します。
Reset	Factory Reset	各種調整項目の設定値を出荷設定値に戻します。

２．画面位置／サイズ（ ✥ ）

▣	Zoom	画面を拡大／縮小します。
▯	Horizontal Position	画面の左右方向の位置を調整します。
◂▸	Horizontal Size	画面の左右方向のサイズを調整します。
▭	Vertical Position	画面の上下方向の位置を調整します。
▮	Vertical Size	画面の上下方向のサイズを調整します。
Reset	Reset	本項目の設定値を出荷設定値に戻します。

３．画面歪み調整（ ▱ ）

▯	Pincushion	糸巻／樽形歪みを調整します。
▯	Pin Balance	画面側面のふくらみ／へこみを調整します。
▱	Trapezoid	台形歪みを調整します。
▱	Parallel	平行四辺形歪みを調整します。
▯	Corner	画面四隅の歪みを調整します。
↻	Rotation	回転歪みを調整します。
Reset	Reset	本項目の設定値を出荷設定値に戻します。

４．色温度調整（ ）

9300/6500	画面の色温度を９３００°Ｋもしくは６５００°Ｋに設定します。
USER	好みの色温度に設定することができます。

５．ＯＳＤ言語設定（ ）

ＯＳＤの表示言語を英語／ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語に切り替えます。

６．その他の設定（ ）

	H-Moire	水平方向のモアレを目立たなくなるようにします。
	V-Moire	垂直方向のモアレを目立たなくなるようにします。
	OSD H-Position	ＯＳＤの左右方向の位置を調整します。
	OSD V-Position	ＯＳＤの上下方向の位置を調整します。
	Input Level	ビデオ信号の入力レベルを設定します。通常は０．７Ｖでお使いください。
	Reset	本項目の設定値を出荷設定値に戻します。

節電機能について

本製品は節電機能をもっています。これは基本装置からの同期信号が停止した場合、ブラウン管、回路などへの給電をストップして消費電力を節約する機能です。同期信号を再開すると、通常の動作状態に戻ります。この機能はVESAの定めるDPMS規格に対応した基本装置でのみ使用することができます。

節電機能データ表

水平同期	垂直同期	画面	消費電力	ランプの色
ＯＮ	ＯＮ	通常表示	７５Ｗ	緑
ＯＦＦ	ＯＮ	非表示	５W以下	オレンジ
ＯＮ	ＯＦＦ			
ＯＦＦ	ＯＦＦ			

●節電機能が有効になると、ブラウン管を暖めるヒーターへの給電も停止します。そのため、ブラウン管が冷えると、復帰してから画面に表示されるまでには多少時間がかかります。

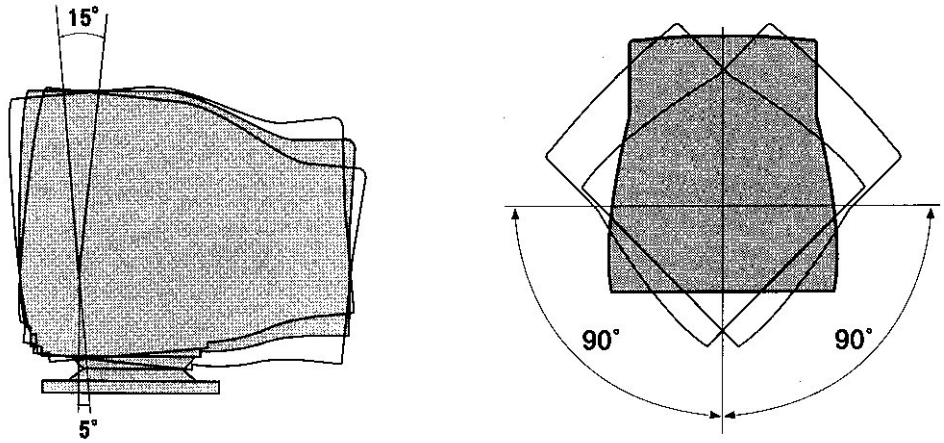
●本製品の節電機能はVESA DPMSに準拠していない基本装置では使用できません。

トラブルシューティング

症状	原因	対策
本製品の電源が入らない（電源表示ランプが点灯しない）	電源コード／コンセントに異常がある	電源コードの接続、コンセントの状態を確認してください。
	その他	ショートなどが考えられますので、すみやかに電源を切って保守員にご相談ください。
画面が表示されない	画面の明るさやコントラストが低く設定されている	コントラスト／ブライトネス調整を行い、適切なレベルまで設定値を上げてください。
画面サイズ／位置に異常がある	モニターの調整を行う必要がある	本書の「ＯＳＤメニューについて」をご参照の上、画面サイズ／位置の調整を行ってください。
節電機能が使用できない	本製品の節電機能はVESA DPMSに準拠して、水平／垂直同期信号を停止できる基本装置（グラフィックスカード）でなければ使用できません。	
画面がゆれる	他のモニターを近く（３０cm程度）に設置している	画面の揺れが無くなるまで２つのモニターを放して設置してください。
画像がにじむ	グラフィックスカードの種類によっては発生することがあります（ビデオ入力信号の大きさの違い）	ブライトネス、コントラストを調節して最適の画像にしてください。
色がおかしい	ブラウン管が帯磁している	本製品の電源をオフの状態で５分以上放置したのちに、再度、電源をオンにしてください。
その他の異常がある場合	他の装置に不具合がある	基本装置が正しく設定されているかどうか確認してください。サーバースイッチユニットを介して接続されている場合は基本装置に直接接続して正常に動作するか確認してください。

付録：ハードウェア仕様

ブラウン管	１５インチ、９０度偏向、ドットピッチ０．２８mm、 ノングレア処理
最大解像度	１２８０×１０２４（推奨：１０２４×７６８）
走査周波数	水平周波数：３０～７０KHz、垂直周波数：５０～１２０Hz
入力信号	映像信号：ＲＧＢアナログ ０．７Vp-p（正極性） 入力インピーダンス ７５Ω 同期信号：セパレート方式、コンポジット方式 ＴＴＬレベル（正／負極性）
表示色	フルカラー
表示エリア（H×V）	２７０mm×２０２mm
信号コネクタ	１５ピンミニDサブコネクタ
チルト台	チルト調整：下5度、上１５度 スイベル調整：左右各９０度
電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
消費電力	７５W（節電時：5W以下）
外形寸法	幅３６３mm×高さ３７４mm×奥行き３９８mm
重量	１２．５Kg
使用環境	温度：0℃～４０℃、湿度：１０%～９０%（結露のないこと）
その他	VESA DDC 1/2B 対応



付属チルト台の傾きと回転角度

Ｎ８１７１－３０Ｂ
１５型カラーディスプレイ取扱説明書
２００３年１０月初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目７番１号

NEC Corporation 2003
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。